

連合神奈川・川崎地域連合

川崎市へ「2019年度に向けた政策・制度要求と提言」を提出！

JR南武線対策やフードバンク活動の普及などを要請

連合神奈川と川崎地域連合は、2018年8月27日(月)9時30分より川崎市第3庁舎において、「2019年度に向けた政策・制度要求と提言」の申し入れを行ないました。

冒頭、柏木会長は、政策制度については「SDGsを念頭に入れ、我々の知恵を集めて作成したので検討願いたい」と挨拶しました。

つぎに藤吉議長は、「JR南武線署名活動にご協力いただき感謝したい。また、今年度も働く者・市民を代表して提出する」と申し入れました。

福田市長からは、「川崎市として課題にしているところを指摘いただいている」と述べ、「JR南武線の混雑緩和については川崎市として2回目のオフピーク通勤を行った。沿線の企業にも働き方改革という視点でオフピーク通勤にご協力いただきたい」と挨拶されました。

連合神奈川 申し入れ件数28件(内新規7件)

川崎地域連合 申し入れ件数51件(内新規15件)



福田市長に要求書を渡す藤吉議長

2018年8月28日(火)神奈川新聞 川崎版

**予算編成に向け
政策要求を提出**
連合神奈川(柏木教一會長)と川崎地域連合(藤吉誠一郎議長)は27日、川崎市の2019年度予算編成に向けた政策・制度要求をまとめ、福田紀彦市長に提出した。写真。

重点政策として、医療や介護、保育現場での人材確保と定着に向けての支援策の充実や、豪雨災害などでの浸水対策の強化、性的少



数者に対する支援策の推進など24項目を挙げた。川崎地域連合は重点要求として、昨年度に続き、JR武蔵小杉駅の混雑緩和の

早期実現を冒頭に掲げた。市とJR東日本が同駅横須賀線ホームの増設などの対策に乗り出していることに触れた上で「危険な状態が続いており、一層の安全対策の早期実現を図ること」を求めた。このほか、地域包括ケアシステムの早期構築や生活困窮者支援の充実なども求めた。

福田市長は、同駅の混雑緩和策について「できることを積み上げ、少しでも早く解消するよう努めていきたい」と述べた。



挨拶をする柏木会長



コメントする福田市長



挨拶をする藤吉議長